

学年	教科	科目	教科書名	教材名
高2 特別進学	国語	古典探究	精選古典探究 (東京書籍)	下記参照

## 1. 授業のねらい

- ・これまでに身につけた古典の基礎知識をもとに、様々な作品に触れて古文・漢文を読解する力を身に付けましょう。
- ・習得した文法や句法の知識に基づき、古文・漢文の本文を正確に理解できるようにしましょう。
- ・古典作品を通して、日本文化やそれに影響を与えた中国文化に対する理解と関心を深めましょう。

## 2. 授業のすすめ方

- ・進度に応じて予習（品詞分解、書き下し、語句の意味調べ等）をしておくことを前提とします。
- ・授業をすすめるにあたり教科書・ノート・古語辞典・資料集を準備しておくことを前提とします。
- ・授業は【導入】→【展開（予習に沿った発問・板書）】→【まとめ・確認】を基本に行います。
- ・古文単語を多く覚え古文漢文の文法の習熟を図るために、小テストを実施します。
- ・iPadを使用し、ロイロノートやClassiを用いて、理解度を確認しながら授業をおこないます。
- ・授業の理解度を深めるため、用言・助動詞について各自でスタディサプリによる講義動画を活用して下さい。

## 3. 学習上の留意点

- ・学期ごとに定めた重点項目を身につけるために、調べること・復習すること・質問することを心がけて下さい。
- ・授業で学習した部分は教科書やノートを読み直すなどして、その日のうちに復習しましょう。
- ・内容や意味をしっかりと理解出来るように古語辞典や漢和辞典、資料集等を積極的に使用しましょう。

## 4. 副教材・参考文献

- ・『新国語総合ガイド 五訂版』（京都書房） ※ 予習・復習・授業で使用（3年間使用）
- ・『基礎から学ぶ解析古典文法』（桐原書店） ※ 予習・復習・授業・小テストで使用（3年間使用）
- ・『解析古典文法演習ノート』（桐原書店） ※ 予習・復習・授業・小テストで使用（3年間使用）
- ・『必携 新明説漢文』（尚文出版） ※ 予習・復習・授業・小テストで使用（2年間使用）
- ・『読んで見て覚える重要古文単語315』（桐原書店） ※ 主に小テストの出題範囲として使用（3年間使用）
- ・必要に応じて各種手作りのプリント、デジタル教材を使用します。

## 5. 評価方法

- ・定期考査、小テスト、提出物、課題等で判断します。
- ・定期考査では授業内容を理解しているか、応用力がついているかを問います。
- ・小テスト（重要な古文単語・古文漢文の文法事項に関して）  
※範囲および実施日については、別に配布する予定表を参照してください。  
※平常点に換算します。
- ・古典の平常点は1・2学期それぞれ20点、3学期10点です。

## 6. 定期考査

- ・教科書ならびに授業で学習したことを中心に出題します。試験時間は60分。記述式のテストで実施。
- ・応用問題も出題します（副教材や同ジャンルの入試問題等からの出題）。
- ・教科書及び資料集、使用したプリントやデジタル教材などの授業に関わる全ての資料を把握しておきましょう。

### 〈出題分野〉

1学期中間考査：古文（説話1）	漢文（小話）	古文・漢文の問題演習
1学期期末考査：古文（随筆1）	漢文（詩1）	古文・漢文の問題演習
2学期中間考査：古文（物語1・日記）	漢文（史記1）	古文・漢文の問題演習
2学期期末考査：古文（作り物語1・随筆1）	漢文（思想1・2）	古文・漢文の問題演習
3学期期末考査：古文（随筆2）	漢文（小説1）	古文・漢文の問題演習

※状況によって多少の変動がある場合があります。

## 7. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月	説話 1 ・用言の活用と種類を確認する ・文中の助動詞を理解する ・正しい口語訳をし、内容を理解する ・登場人物の行動や心理をおさえる ・作品の背景を知り、理解を深める	小テスト 定期考査	古文 ・用言の活用と識別 ・新出及び重要古語の確認 ・助動詞の使い方の理解 ・作品の面白さを味わう 漢文 ・語彙の習得 ・内容理解 ・文学史的な知識の拡充 ・敬語入門 ・自ら調べ、考える能動的な学習の確立
	五月	小話 ・訓点や句法を復習し、漢文読解に必要な基礎について確認する ・漢文訓読の基礎力を確立させる ・置き字や再読文字を復習する (中間考査)		
	六月	詩 1 ・唐詩の形式や特徴を理解する ・唐詩の世界を味わう ・対句や押韻など修辞法の知識を定着させる ・唐代の詩人に関する知識を深める		
	七月	(期末考査)		
二 学 期	九月	歌物語 ・物語の世界に触れ、理解を深める ・文中の用言や助動詞を理解する ・和歌と物語の関連について理解する	小テスト 定期考査	古文 ・用言の種類と活用 ・助動詞の意味 ・助動詞の活用と接続 ・語彙の習得 ・文学史に関する知識 ・敬語の使い分け ・内容理解 ・自ら調べ、考える能動的な学習の確立 漢文 ・漢文訓読のルールの確認 ・訓点・句法の確認 ・正確な訓読 ・書き下し文(置き字・再読文字) ・現代語訳 ・内容理解 ・長文の大意を把握する力の習得 ・故事成語の知識の習得 ・自ら調べ、考える能動的な学習の確立
	十月	日記 1 ・身に付けた品詞の知識に基づいて口語訳を行い、内容を理解する ・日記の文学史について確認する		
	十一月	史記 1 ・漢文読解に必要な知識を定着させ、正しい訓読と書き下しを行えるようにする ・史伝の面白さを味わう ・作品の背景を知り、理解を深める ・中国文学の日本文学への影響を理解する (中間考査)		
	十二月	作り物語 1 ・物語の世界に触れ、理解を深める ・敬語の使い方を学び、理解する ・敬語の種類について確認する ・作品の背景を知り、理解を深める 思想 1 ・儒家や法家の思想について理解する 思想 2 ・老荘思想について理解する (期末考査)		
三 学 期	一月	随筆 2 ・身に付けた品詞の知識に基づいて口語訳を行い、内容を理解する ・作品の背景を知り、理解を深める ・本文の学習を通して品詞のまとめをする ・助動詞について総復習する	小テスト 定期考査	古文 ・用言のまとめ ・助動詞の総復習 ・語彙の習得 ・文学史的な知識の拡充 ・内容理解 ・問題演習 漢文 ・句法・書き下しの復習 ・文学史的な知識の拡充
	二月	小説 1 ・身につけた漢文の知識に基づいて口語訳を行い、内容を理解する ・訓読や書き下しについて総復習する		
	三月	(期末考査)		

※シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により省略や前後することがあります。